

令和 3 年 3 月 1 2 日

地方創生に関する調査特別委員会

阿久根市議会

- 1 会 議 名 地方創生に関する調査特別委員会
- 2 日 時 令和3年3月12日（金）
10時37分開会
11時05分閉会
- 3 場 所 議 場
- 4 出 席 委 員 岩崎健二委員長、竹之内和満副委員長、川上洋一委員、
濱門明典委員、白石純一委員、濱田洋一委員、
竹原信一委員、濱崎國治委員、中面幸人委員、
牟田学委員、木下孝行委員、濱之上大成委員、
山田勝委員、仮屋園一徳委員
- 5 事務局職員 次長兼議事係長 牟田 昇、議事係 松崎 正幸
- 6 会議に付した事件
・笑顔あふれる阿久根市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総
合戦略の検証について
- 7 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

岩崎健二委員長

ただいまから、地方創生に関する調査特別委員会を開会します。

去る、2月4日に開催した委員会では、地方創生に関する各事業の所管課に質疑等を行い、各委員から意見を伺いました。また、そのほか、文書により意見を出していただいたところです。

本日は、これらの意見を基に、本委員会としての令和元年度事業の検証結果に対する意見を取りまとめたいと思っております。

ただいま、配付してあります委員からの意見を熟読していただくため、ここで暫時休憩をし、その後、出されました意見のほかに意見があれば伺いますの、よろしくお願いいたします。

それでは、暫時休憩いたします。

（休憩 10：32～10：37）

岩崎健二委員長

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

それでは、ただいま配付してある各事業に対する意見等のほかに、さらに意見があれば伺います。ありませんか。

仮屋園一徳委員

ページの一番最後のですね、「防止体制を強化する」（危険空き家の解消）というところで、もう少し危険住宅の調査をしっかりともらって、どのような危険住宅が地域にあるのかを周知しながら、危険住宅の解消に積極的に取り組んでいただきたいと思います。

岩崎健二委員長

最後のページというか、「③防止体制を強化する」の一番最後の行、危険空き家の解消について、危険空き家の調査を積極的に行い、解消に向けて努力していただきたいと思いますということによろしいですか。

仮屋園一徳委員

はい。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

牟田学委員

同じページの「②自然環境を守り育てる」、クリーンビーチあくねのところですね、12番議員も言われてますが、大島だけ重点的に整備をしているように思われるんですが、天候不良に左右されない陸路で行ける脇本海水浴場辺りもですね、やはり手をかけるべきだと思うんですよ。そこ辺りをもうちょっと重点的にお願いしたいです。

岩崎健二委員長

「②自然環境を守り育てる」クリーンビーチあくねについて、大島だけではなく他の海岸を。脇本海岸を入れたいんですか。

牟田学委員

脇本、大川島、もうちょっと手を入れるべきだと思います。

岩崎健二委員長

他の海水浴場についても積極的な支援をしていただきたいということでしょうか。

ほかにありませんか。

中面幸人委員

1 ページのですね、「①第1次産業を支援する」の中の私の意見のところ、耕作放棄地解消対策として、意見として鳥獣被害対策をしないと農業をやっていけない。国の制度を利用した鳥獣被害対策をしっかりと推奨してほしいとありますけれども。これは具体的にですね、活動経費について、市の補助を検討してほしいと。市からの補助を検討してほしいんですが。

岩崎健二委員長

今、中面委員のおっしゃるのは、国の制度において材料的には100%、この前から言われているのがあるんだが、実際、100%もらうためには自分たちで設置しないといけない。設置が難しいので、その設置について市の補助をいただきたいということですね。市独自の補助を検討していただきたいと。

中面幸人委員

そうです。そうしないと進まないと思いますので。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

山田勝委員

2 ページの次、「①阿久根に住む人を増やす」というところにですね、移住定住支援、地域おこし協力隊を活用した移住定住の促進、ここにですね、空き家バンク、とにかく地域おこし協力隊員を活用した空き家バンク、対策をしてくれと。そうしないとね、勤務時間でしか職員はしないから。だから地域おこし協力隊に移住定住及び空き家バンクについてはしてもらってください。

岩崎健二委員長

「①阿久根に住む人を増やす」、上から2段目、地域おこし協力隊員を活用した移住定住の促進のところに、地域おこし協力隊を活用した移住定住の促進と空き家バンクの推進ということで。

山田勝委員

能力がなかったらすんなて。それも書いてくれ。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

濱門明典委員

今のところなんですが、2 ページのですね、人を増やすということですね。空き家をですね、行政のほうで買い取ってですね、空き家対策として情報を流して。なかなか空き家ができて、なかなか住めるような状況にならないというのがですね、一つのネックだと思うんですよ。だから、これをば市のほうで

買い取ってですね、そういう空き家対策のほうに向けていったらどうだろうかということをしていただきたいと思います。

岩崎健二委員長

「①阿久根に住む人増やす」空き家活用支援事業の中に。濱門委員、ここに積極的に行政が空き家の確保に動きというふうに書いてあるんですが、これじゃいけませんか。

濱門明典委員

それでいいです。

岩崎健二委員長

じゃあこのままでいいですね。

ほかにありませんか。

山田勝委員

「②阿久根に来る人を増やす」自然保護と観光地づくりってあるんですが、先ほど牟田議員が言いましたけどね、クリーンビーチあくねの話なんですけどね、私は阿久根大島に金をあまりかけるのは限界に来てと思うんですよ。長い間、金をかけてもかけても来島人口が減るだけですから。しかしながら、脇本海岸及び折口海岸のですね、年間を通じて来客者が多いこと。特に冬場の波乗り、サーフィン。それから夏の海水浴もですね、ものすごく多いですよ。それから船でいかないかんという、やっぱりネックですね、あれは。だから、そういうことから考えて、もっと考えを変えるべきだという気がしますよ。ほかのところもあります。大川島もあればどこもありますけどね、とりあえずはメインを脇本、折口海岸に当てて、対策をしてほしいと思います。

岩崎健二委員長

私は勉強不足なんですけど、折口海岸は海水浴場ではないですよ。

[発言する者あり]

遊泳禁止なんですか。

いろいろそういうところがあると思いますので、脇本海岸ということで一緒にいいですか。

[山田勝委員「はい、はい、よかど」と呼ぶ]

大島に金をかけるなということも考え方はあると思いますが、いろんな政策もありますので、そこところは置いて、脇本海岸のサーフィン等の周年観光客の利便性の向上につなげていただきたいと思いますというふうじゃいけませんかね。脇本海岸におけるサーフィン客等を周年で受け入れられることができるような施策を推進していただきたいと。

山田勝委員

おいげんやうんの人はしとらんたっどん、私は脇本海岸がいいと思ってますよ。

岩崎健二委員長

一括して脇本海岸ということでもいいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

ほかにありませんか。

濱田洋一委員

「②阿久根に来る人を増やす」、歴史自然を生かした観光地づくりで、私が修正を、ここをお願いしたいと思うんですが。観光客、交流人口を増やすため、関係機関と連携を図り、コロナ収束後にスタートダッシュができるような取組を今のうちに考えるべきということでお願いしたいと思います。

岩崎健二委員長

この前のほうに付け加えるんですね。

濱田洋一委員

それとコロナ後とありますけど、コロナ収束後にスタートダッシュができるような取組を今のうちに考えるべきということでお願いします。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

中面幸人委員

3 ページの「②阿久根に来る人を増やす」というところでですね、いわばリピーターを増やすと。例えば、みどこい祭りとか、その行事行事であって、先ほど出ましたように周年観光というか、1 年を通してリピーターを増やすためにですね、一つの施設を造らなきゃならないとは思ってるので、例えば、阿久根は海を生かしきれていないということがあるので、私は海を生かした、例えば、海釣り公園とか、釣り堀とか、そういうのを一つ観光地として造ってほしいと。例えば、子供たちと親と釣りに来ると。

岩崎健二委員長

中面委員、考え方はよく分かるんですが、文章を。ちゃんと言葉で書けるようなことを言ってくれませんか。いろんな考え方を述べるんじゃなくて、それは大概分かりますので、皆さん。どういう文章でここに入れるというふうにしてくれないと書けないので。

中面幸人委員

リピーターを増やす政策としてですね、周年におけるリピーターを増やす政策として、海釣り公園とか釣り堀等を観光、うまく委員長で考えてください。

岩崎健二委員長

骨子だけ確認します。周年リピーターを増やすように、海釣り公園等の整備をしていただきたいと、いうことでいいですか。海を活用した周年リピーターを増やすように、海釣り公園等の整備をしていただきたいと、いうことでいいですか。

中面幸人委員

具体的に海釣り公園とか釣り堀を入れてください。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

濱門明典委員

阿久根は喫茶店というのがないんですよ。ちょっとお茶でも飲みたいというようなですね、そういうのがなくて、市のあれでもいいんですけども。来ても、ぶえん館とかああいうところは非常に土、日は混む状態なんですよ。だから総合的な、ゆったりできるようなね、そういうものができないかなと思うんですが。まちに来る人を増やすということですね。

岩崎健二委員長

③阿久根のファンを増やす、②阿久根に来る人を増やす、ここらですか。

濱門明典委員

そのところで、阿久根ちゅうのはゆっくりできる喫茶店をないような状況ですね。折口まで行って、こっちはあれがなくなったじゃないですか。だから、阿久根というのがそういうゆっくりしてできるのがないんですよ、阿久根に。

岩崎健二委員長

少なくとも今の会議は、行政ができるものに行政に対していろんな議会として、委員会としての要望や提言をするわけですから。民間がやるようなものについては、施設を造れとかいうのはなじまないのかと思うんですがね。

濱門明典委員

はい、了解です。

川上洋一委員

3 ページのですね、歴史資源を生かした観光地づくりですけど、私が思うに寺島邸にかなりお金もかけてやってるんですけど、できれば行政として寺島を無人島のキャンプ地にできるような感じでしてもらえば、もっと一層、いろんな都会から来て、お客さんたちが家族で楽しめると思うんですけど。そこら辺は行政ができないことかなと思うんですが。

岩崎健二委員長

「②阿久根に来る人を増やす」自然保護と観光地づくりの項で、寺島を利用した観光地づくりに推進してほしいということによろしいですか。

[川上洋一委員「はい」と呼ぶ]

ほかにありませんか。

山田勝委員

「③阿久根のファンを増やす」というところの4 ページのところにね、ふるさと納税の推進とは書いてあるんだがないので、ふるさと納税に取り組んでください。なんでもかと言えば、損をするのは誰もいません。積極的に推進します、税収は増えます、阿久根の品物は売れます。そういうことです。そのためには返礼品の数を増やさないかんですよ。返礼品の数を、魅力ある返礼品をつくる。

岩崎健二委員長

それでは4 ページのふるさと納税の推進のところで、返礼品の数を増やすなど、積極的に推進してもらいたいといいですか。

[山田勝委員「はい」と呼ぶ]

ほかにありませんか。

濱崎國治委員

「③子育て・教育を支援する」というところで、病児支援保育事業というのはないんですが、新たに加えて。病気の幼児の預かる場所がないんですね。どうしても保育園とか幼稚園に入所させてるときに、病気になったときに、保護者が休んで面倒見られないかんという状況がありますので、それを支援するために病児保育所と言いますかね、川内等でやってるんですが。病児保育を支援

する事業所の整備とかですね。整備をすると。受け入れ施設の整備。

岩崎健二委員長

この項目等については最初に決まっているものですから、なかなか項目を追加するというのは難しい気がしますので、最後のところで本検証に対する付帯意見ということが付けられますので、この中に、今、濱崎委員が言われました病児保育事業を入れて、病児保育を支援する施設の整備を促進していただきたいというのを入れたいと思いますが、いいですか。

濱崎國治委員

はい、それでいいです。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

白石純一委員

ちょっと発言していたものの修正をお願いしたいんですけども。5ページの子育て支援の私の意見が書いてありますけれども、2行目の後ろのほうからこういうふうに変更いただけないかなと。2行目から読みますと、市全体が潤うという観点でよいことであるが、のあとですね。中小を含め、市内全域での利用を促す方策を考えていただきたい。

岩崎健二委員長

市内全体が潤うという観点からはよいことであるが、中小を含め、市内全域での利用を促す方策を検討すべき。

白石純一委員

中小店舗ですね、中小店舗を含め。

岩崎健二委員長

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ただいま出された意見も含め、当委員会から議長宛て報告することとしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

ここで、各委員の御意見を伺います。

本委員会は、令和元年に設置され、これまで地方創生に関する各年度の検証等を行い、議会としての意見の提言を行ってまいりました。

しかし、本委員会で検証し、提言を行う中において、報告する時期により、翌年度の施策、特に当初予算に対して反映されることが難しいと考えております。また、報告される事業については、決算資料の中に含まれており、その説明を受けて審査がなされております。

そこで、例年行われる前年度の決算審査の中で、事業の成果説明書等にKPI等の数値を盛り込むなど、地方創生に係る部分を加えることで、その検証も一度にできるのではないかと考えているところです。

したがって、執行部に対し、そのような要請を行い、本委員会の役割を決算委員会において行っていただくこととし、今期定例会に調査終了の報告をしたいと思っておりますが、各委員の御意見を伺います。

中面幸人委員

今のそれでよろしいですが、こうして調査特別委員会をしていろいろ検討するんですが、例えば、議長から執行部に対してこういうことを上げるわけだけど、その結果どうしたのか、どうするのか、これはぼつとか、これは採用とか、そういうのがでないと何かやるだけ、委員会をやるだけで結果が一つも分からないんですが、その辺あたりをしっかりと今回はしてほしいと思います。

岩崎健二委員長

委員会としまして、皆さん御存じのとおり、それぞれ議員活動や委員会として様々な意見が出ていますので、これが全て反映されるかと言うとなかなか難しいところもあるかと思います。先ほど申しましたとおり、今の時期にこの委員会をしても新年度予算に反映されていないというのがあるので、この委員会としては次年度への新年度予算に反映するために、決算委員会でしたらどうでしょうかというのを皆さんにお諮りしているわけです。それをもって、今、中面委員が言われた自分たちが出したことが反映されているかどうかは、予算委員会等で質疑等をしていただければと思うんですが、いいですか。

〔発言する者あり〕

それではお諮りいたします。執行部に対し、地方創生に関する部分を決算審査における資料等に加えることを要請し、決算を審査する委員会で地方創生に関する事項を一体的に審査することとし、本委員会の調査を終了することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

なお、本委員会の調査報告書の作成及び委員長報告、議会だより原稿の記載及び提出につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

以上で、地方創生に関する調査特別委員会を散会します。

（散 会 1 1 時 0 5 分）

地方創生特別委員会委員長

岩 崎 健 二